

事業概要シート

施策	0301	歴史・文化の保護・活用・継承	<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	歴史資料館整備事業	新規	予算額 3,850 千円 << >>千円
事業期間	令和6年度 ~ 令和12年度	財源内訳	国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 3,850 千円 一般財源 千円
根拠法令要綱等	博物館法 大村市歴史資料館条例		

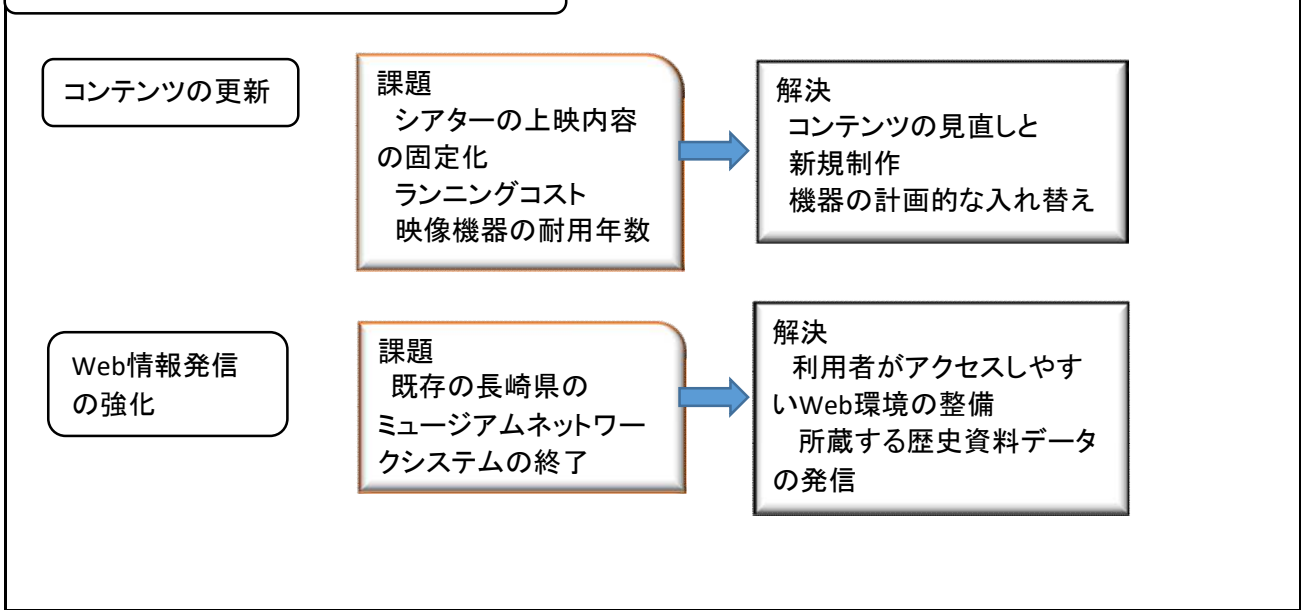
【事業の目的・概要・対象】

目的
 コンテンツやHPの改修を行うことで、魅力ある情報発信を行い、大村の魅力を伝える歴史資料館の機能を充実を図る。

内容
 歴史資料館のコンテンツ、映像機器、HPおよび関連サーバの更新を行う。

- シアターコンテンツの制作
 開館以来2コンテンツを上映しているが、これを見直し、新規コンテンツを制作する。
- 映像機器の更新
 設置から5年を経過するため、耐用年数や新規コンテンツの導入状況を勘案し、更新を行っていく。
- HP環境の整備
 これまで参加していた県のシステムが終了することから、独自にサーバの整備、収蔵資料情報の発信などの環境を整え、併せてHPの改修も行う。

魅力ある歴史資料館を目指して



【背景】

歴史資料館シアターコンツについて、現在、映画とデジタルコンテンツの2つで運用しているが、新たなコンテンツの導入など見直しが求められており、市議会にも令和6年度から8年度を目途に見直す説明している。シアターや展示室の映像機器も、設置から5年が経過することもあり、耐用年数も勘案し計画的に更新していく必要がある。

また、HPについては、これまで参加していた長崎県のミュージアムネットワークシステムが終了することから、独自にサーバを設置し、HPや収蔵資料データの発信する環境を整備する必要がある。

担当課	教育委員会文化振興課（歴史資料館）	課長	今村 明
担当者	今村 明	問合せ先	0957-48-5050

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	コンテンツ制作本数	計画値 本	0	0	0	0	1
②	データ移管	計画値 %	0	0	100		

【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	シアター入場者数	計画値 人	21,716	25,000	25,000	25,000	25,000
②	事業進捗率	計画値 %	0	0	4	27	77

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	0	0	0	3,850	20,000	43,670	67,520
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他				3,850			3,850
一般財源					20,000	43,670	63,670
人件費	0	0	0	3,836	3,836	3,836	11,508
職員(人)				0.50人	0.50人	0.50人	1.50人
時間外勤務(h)				100h	100h	100h	300h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	7,686	23,836	47,506	79,028

妥当性 (市の関与)	市の施設のコンテンツやシステムであり、市が行う必要がある。
有効性 (施策貢献度)	魅力あるコンテンツや情報を提供することは、歴史文化の継承やミライ o n の充実に有効である。
効率性 (コスト)	今後、計画を精査していく段階であり、コストの平準化を考慮に入れて検討していく。

1次評価	コンテンツの充実やインターネットをはじめとする情報発信は、歴史・文化の継承には必要であり、新規事業として取り組む必要がある。
2次評価	一次評価のとおり